『ブルーの冒険』の使いかた

● お使いになる前に

まず、絵本に乱丁がないか確認してください

メモリースティックを絵本から取り外す前に、『ブルーの冒険』の絵本に乱丁がないことを確認してください。メモリースティックを取り外した後で乱丁が見つかっても、絵本の返品、交換はできません。

メモリースティックはていねいに取り外してください

メモリースティックは、絵本の最後のページに貼り付けてあります。メモリースティックを剥がすとき、絵本の一部が破れることがあるので、ていねいに剥がしてください。
また、メモリースティックを取り外すときに、絵本の一部が破れたことを理由に絵本の返品、交換を行うことはできません。

ダイナミックモードのときは、前足と絵本を30cm以上離してください

AIBOをダイナミックモード(次ページ参照)で動作させるときは、必ずAIBOの前足と絵本の距離を30cm以上離してください。前足と本の距離を30cm以上離さないと、AIBOの前足が絵本の飛び出した部分に接触し、絵本を破損させることがあります。
また、絵本の肉球マークの所に前足を置かないでください。AIBOの前足が絵本と接触し、絵本を破損する原因となります。

ポーズボタンを押すときは、AIBOと絵本を30cm以上離してください

AIBOが朗読しているときに胸のポーズボタンを押すと、AIBOが絵本に倒れこみ、絵本を破損させることがあります。胸のポーズボタンは、AIBOを絵本から30cm以上離してから押してください。

『ブルーの冒険』に添付されているメモリースティックはERS-210専用です

『ブルーの冒険』に添付されているメモリースティックを、パソコンに挿入したり、内容を書き換えると動作しなくなります。また、ERS-110やERS-111に挿入しても動作しません。

⚠注意 保護者の方へ　必ずお読みください。

- 本製品を10才未満のお子様といっしょに使うときは、必ず保護者の管理の下で使ってください。
- 絵本のデザイン・機能上、尖っている部分があります。目などを突いたりしないよう十分に注意してください。
- AIBOをダイナミックモードで動かしているときは、AIBOの前足に手が挟み込まれる可能性があります。挟み込まれないように注意してください。
- AIBOに異常が起きたり、手を挟まれたときは、胸のポーズボタンを押してください。
- 朗読中は、AIBOに触れないでください。

● 起動のしかた

1～3の操作や、あごセンサー、背中センサーの位置などについて、くわしくは『ERS-210取扱説明書』をご覧ください。

❶ 絵本に添付されているピンクのメモリースティックをAIBOに挿入してください。

メモリースティックのラベル面を、バッテリー挿入口の方に向けて、差し込んでください。

❷ バッテリーが入っていることを確認し、AIBO本体のふたをしめてください。

❸ 平らな場所に置いてください。

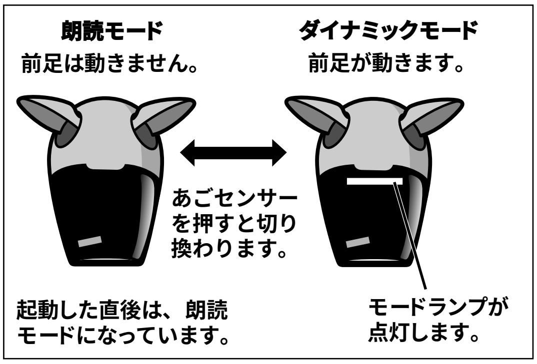
❹ 胸のポーズボタンを押してください。

胸のランプが緑色に光って、動き出します。

❺ ダイナミックモードにするときは、あごセンサーを押します。

『ブルーの冒険』には、朗読モード（前足は動かない）と、ダイナミックモード（前足が動く）の2種類の話し方があります。AIBOを起動した直後は朗読モードになっています。あごセンサーを押すたびに、朗読モードとダイナミックモードが切り換わります。

朗読モードとダイナミックモード



❻ 絵本の最初のページを開いて、AIBOの背中センサーを押してください。

AIBOがお話をはじめます。

❼ 開いてるページを読み終わったら、次のページを開いて、AIBOの背中センサーを押します。

朗読モードと、ダイナミックモードを切り換えたいときは、背中センサーを押す前に、あごセンサーを押してください。

● 終わりかた

安全のため、AIBOが待機状態（話していない状態）のときに操作してください。

❶ AIBOを絵本から30cm以上離して、胸のポーズボタンを押してください。

ポーズボタンを押すと、AIBOは停止状態になります。

❷ 胸のランプが消えたら、メモリースティックを取り出してください。

メモリースティックの取り出しは、『ERS-210取扱説明書』をご覧ください。

● 次のシーンや前のシーンに進みたいとき（左右のページを合わせて、シーンと呼びます）

●次のシーンに進みたいとき

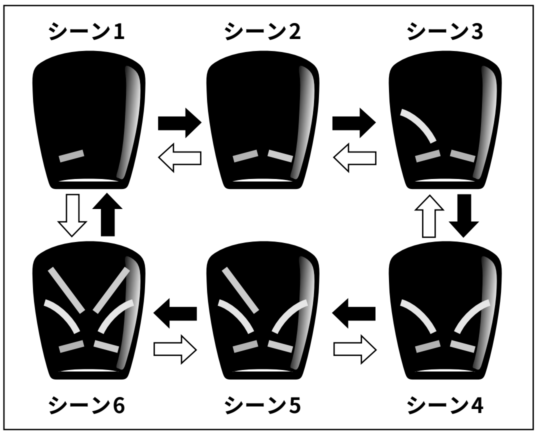
左後ろ足の肉球を押して、背中センサーを押します。
もっと先のシーンに進みたいときは、進む数だけ左後ろ足の肉球を押して、背中センサーを押します。

●前のシーンに戻りたいとき

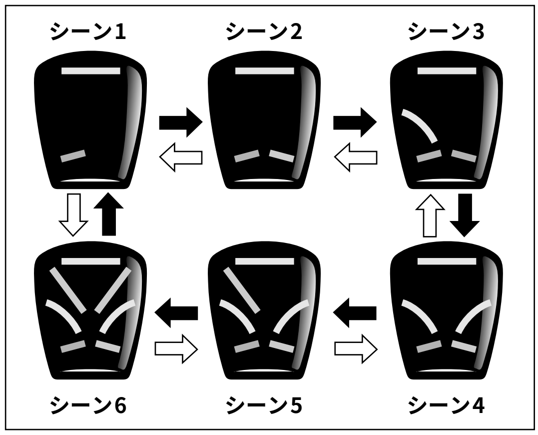
右後ろ足の肉球を押して、背中センサーを押します。
もっと前のシーンへ戻りたいときは、戻る数だけ右後ろ足の肉球を押して、背中センサーを押します。

●目ランプで、これからお話するシーンがわかります

AIBOが後ろ足を前に出して、静かにしている状態のときは、AIBOの目ランプの数とモードランプがついているかどうかで、AIBOの状態がわかります。



朗読モードのときの目ランプ



ダイナミックモードのときの目ランプ

➡ 左後ろ足の肉球を押す

⇦ 右後ろ足の肉球を押す

● 困ったときの対処のしかた

どんな状態ですか？	このように対処してください
AIBOが話す声が小さい	ボリュームが小さい可能性があります。AIBO本体(ERS-210)の取扱説明書の「ボリュームを調整する」にしたがって、ボリュームを大きくしてください。最大で「3」に設定できます。
抱き上げた後、手足をじっとしたまま、ゆっくりとしか動かない	だっこ状態になっています。 モードランプが点滅しているか確認してください。 **点滅しているとき**　平らな場所に置いてください。しばらくしても動作しないときは、頭のセンサーを3秒以上押してください。読みかけていたシーンの最初から読み始めます。 **点滅していないとき**　胸のポーズボタンを押してください。ポーズボタンを押して、AIBOを停止状態にし、左のページの3から操作をし直してください。
胸ランプがオレンジ色に点滅している	バッテリーに異常があります。バッテリーを交換してください。
モードランプは点滅していて、音も出しているのに、AIBOの手足が動かない	挟み込み状態になっています。AIBOは、足に指や物を挟み込むと、脱力状態になり、すべての関節から力を抜きます。 平らな場所に置いて、頭のセンサーを3秒間以上押してください。読みかけていたシーンの最初から読み始めます。
ダイナミックモードで動作中にAIBOが前に倒れ、モードランプが点滅し、AIBOが動かない	これはダイナミックモードでの動作が激しいため、挟み込み状態になってしまったためです。頻繁に挟み込み状態になるときは、朗読モードにするか、左後ろ足の肉球でページを先に進めて挟み込み状態になるシーンをとばしてください。
あごセンサーを押しても、ダイナミックモードにならない	実際のあごセンサーは喉の奥のほうにあります。喉の奥のほうを少し強く押すと、ダイナミックモードになります。

“ AIBO ” はソニー株式会社の登録商標です。
“ メモリースティック ” はソニー株式会社の商標です。
なお、本文中では "TM" は明記していません。

4-653-034-01

AIBO-ware

for ERS-210

定価 12,900**円(税別)**
NF-0001

AIBOがお話しするよ!

**同梱のメモリースティックをERS-210に入れると、
絵本のストーリーをお話しします。
さぁ、今日はどんなお話をしてくれるかな。**

原案・プロデュース／中来田秀樹◉絵／鈴木純子◉文／五味弘文◉ポップアップ設計／図書印刷株式会社◉ブックデザイン／小谷充◉編集／平湯あつし（株式会社カイ）
印刷・製本／図書印刷株式会社◉開発・発行／有限会社ネクストファウンデーション◉©中来田秀樹、鈴木純子、五味弘文、平湯あつし 2000◉Printed in JAPAN　禁無断転載・複製

日本にて本製品をお求めのお客様へ
本製品を開封される前に必ずお読みください。

■　このたびは、弊社製AIBO用ソフトウェア製品をお求めいただき、ありがとうございます。本製品中に同梱されておりますソフトウェア製品をご使用いただく前に、下記ソフトウェア使用許諾契約書をあらかじめお読みください。本製品のお客様による開封をもって、下記ソフトウェア使用許諾契約書にご同意いただいたものとします。尚、下記ソフトウェア使用許諾契約書の条項にご同意いただけない場合、下記ソフトウェア使用許諾契約書の末尾に記載する連絡先にご連絡いただいた上で、未開封の本製品の全てと、本製品をお求めいただいた際の領収書を、お客様の費用負担にて、弊社よりご案内致します宛先に直ちにお送りください。本製品をお求めの際にお客様によりお支払いいただいた金額を払い戻し致します。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「使用者」とします）と弊社（以下「ネクスト ファウンデーション」とします）との間での本ソフトウェア製品（以下「本ソフトウェア」とします）の使用権の許諾に関して定めるものです。

第1条　（総則）

1.　ネクスト ファウンデーションは、本ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

2.　前項に定める許諾には、使用権の再許諾権は含まれません。

第2条　（使用権）

1.　前条に述べる本ソフトウェアの使用権とは、同梱のAIBO用メモリースティックにおいて、使用者が本ソフトウェアを私的に使用する権利をいいます。

2.　本ソフトウェアを情報通信ネットワーク（LAN等を含む）を介して他のコンピュータへ配信する行為は、本契約により許諾される使用権の対象外とさせていただきます。

第3条　（禁止事項）

1.　使用者は、本ソフトウェアおよび本製品に同梱されている本ソフトウェアの関連書類（以下「関連書類」とします）の全部または一部の複製、複写、および修正、追加等の改変を行ってはならないものとします。

2.　使用者は本ソフトウェアに関し、リバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

3.　使用者は、本契約に基づいて使用者に許諾された権利の第三者への譲渡・転売や、本ソフトウェアの第三者への貸与を行ってはならないものとします。

第4条　（本ソフトウェアの権利）

本ソフトウェアおよび関連書類に関する著作権等一切の権利は、ネクスト ファウンデーションまたはネクスト ファウンデーションに対して使用、再許諾することを許諾した原権利者（以下「原権利者」とします）に帰属するものとし、使用者は本ソフトウェアおよびその関連書類に関して、本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条　（責任）

1.　ネクスト ファウンデーションは、本ソフトウェアおよび関連書類に関連して使用者または第三者に生じた損害については、本契約中で定めるものの他、いかなる責任も負わないものとします。

2.　ネクスト ファウンデーションは、使用者によりAIBO用メモリースティック上に記録、保存されたデータ等の消失については、それがいかなる理由に基づく場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

第6条　（保証）

1.　ネクスト ファウンデーションは、使用者による本ソフトウェアの受領後90日間、以下の通り保証を行います。

①　本ソフトウェアが記録されているAIBO用メモリースティックに、ネクスト ファウンデーションによる製造上の原因による瑕疵が発見された場合、ネクスト ファウンデーションは良品の代替AIB0用メモリースティックを無償にて使用者に提供するものとします。

②　前号に述べるサービスは、使用者が、本契約の末尾に記載するお問い合わせ先にご連絡の上、別途弊社によりご案内致します宛先に、上記瑕疵の内容をお書き添えのうえ、当書籍の領収書等の使用者による本ソフトウェアの受領日が確認できる書類、及び瑕疵が発見されたAIBO用メモリースティックを、上記期間内に送付いただいた場合にのみ提供されるものとします。尚、送付にかかる費用は、使用者が負担するものとします。

2.　ネクスト ファウンデーションは本ソフトウェア、本ソフトウェアが記録されているAIBO用メモリースティック、関連書類その他同梱される全ての製品について、本条に定められている他の一切の保証を致しません。

第7条　（第三者に対する責任）

使用者が本ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ネクスト ファウンデーション及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第8条　（契約の解除）

1.　ネクスト ファウンデーションは、使用者が本契約の条項に違反した場合、直ちに本契約を解除し、併せてそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求することができるものとします。

2.　第5条、第7条、第9条及び第10条の規定は前項に基づく契約の解除後も有効に存続するものとします。

第9条　（本ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から遅滞なく本ソフトウェアおよびその複製物を廃棄するものとし、その旨を証明する文書をネクスト ファウンデーションに差し入れるものとします。

第10条　（その他）

1.　本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合は、ネクスト ファウンデーションと使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

2.　協議により解決できない場合には、横浜地方裁判所又は横浜簡易裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

OPEN-R　MEMORY STICK ™

Next Foundation Co.,Ltd.